



Big Brothers
&
Sisters Movement

ともだち

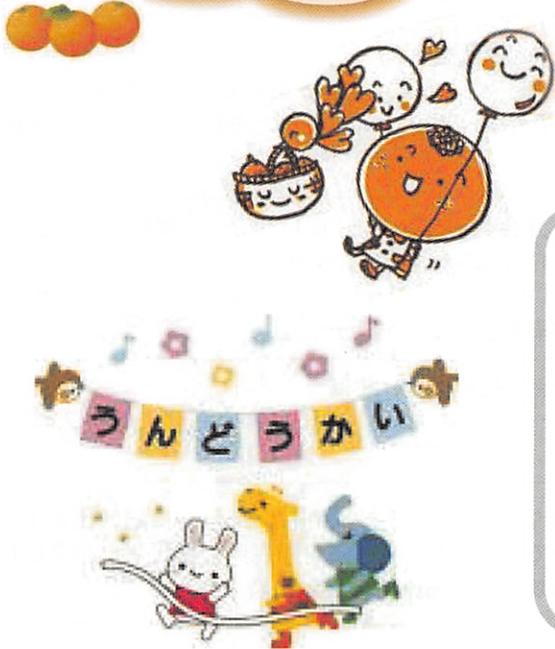
Vol.194
2013
(H25年)
3月

発行：日本BBS連盟事務局

〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷5-10-9 更生保護会館内 TEL 03(3356)7383 FAX03(3356)7610



和歌山市BBS会主催
「みかん狩り運動会」
東日本大震災で被災した子どもたちにも
自然と笑顔がこぼれます☆



もくじ

・平成24年度特別事業 実施報告	2-3
・更女&BBS 合同特別研修会	4
・ともだち活動 fromおおさか	5
・北から南から(市川BBS会～学生から社会人)	6-7
・グループ活動 fromおおいた	8
・学生リレー	9
・BBSにエール！！	10
・お知らせのページ・無尽灯	11
・お知らせのページ・編集後記	12

～平成24年度特別事業～

東日本大震災及び原発事故被災に対するBBS活動

* 実施報告 *



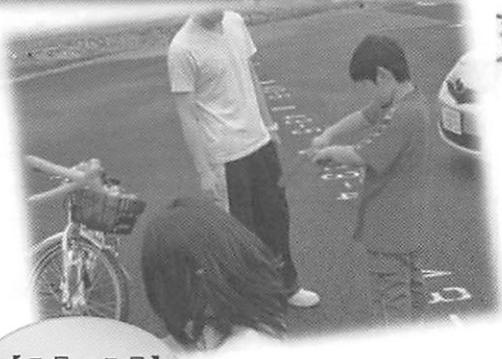
平成23年3月11日に日本を襲った東日本大震災、そして福島原発事故。あれから2年が経った今でも、まだまだ多くの方々全国各地に避難されています。日本BBS連盟では、24年度もこれら被災をされた子どもたちへ激励等の支援活動を行っている地区BBS会に「特別事業」として助成をしてきました。全国のBBS会員の想いが“カタチ”となってあらわされた数々の活動をご紹介します♪



実施月	主催県連	主催地区会	事業内容
5月 7月	栃木県	宇都宮地区	5月、7月の2回、宮城県山元町の仮設住宅に赴き、小学生を対象にもの作りや遊びを体験しました。
7月 10月	宮城県	岩沼地区	被災地である岩沼市の小学生とその家族を市内の里山に招き、7月と10月の2回、ハイキングをしながら野鳥や昆虫の観察会を実施しました。
7月 ～1月	佐賀県	佐賀地区	「いやし! たのし! さがし!」のコンセプトの下、年6回(7月、8月、9月、10月、12月、1月)、佐賀市内において、夏休みもの作り(ビー玉顕微鏡、エコおもちゃ作り)、ボランティア体験、芋掘り・焼き芋会、クリスマス会、お正月お楽しみ会(カルタ、福笑い、百人一首など)を開催。避難されている子どもたち延べ163人が参加しました。
8月	和歌山県	和歌山市	「にんにこニコニコ夏休み」と銘打って8月15日～22日までの間、他の協力団体と共催し福島の子どもたちをバスで招待。夏休みの1週間、和歌山の海で遊んだり、もの作りのワークショップを開き、自然とBBS会員との触れ合い交流会を開催しました。
8月 11月	秋田県	秋田地区	8月 : 釜石市の海水浴場の清掃作業を行いました 11月 : 大船渡市内の清掃作業に参加しました。
12月	和歌山県	和歌山市	絆を深めた「みかん狩り運動会」。 12月29日、和歌山産みかん600キロを被災地石巻市に輸送。仮設住宅で暮らす子どもたちにみかんを使った運動会やゲームを実施しました。
2月	東京都	八王子	「第2回ふれあい交流会」～来らんしょ 食わっしょ お鍋をかこむ会～ 25年2月、八王子市内のふれあい館で実施しました。 キッズスペースにおいてスネークジャンケン、紙風船リレーなど、避難している子どもたちや家族とふれあいました。
3月	新潟県	三条地区	25年3月、地元社会福祉協議会と共催。 三条市に避難している子どもたちに対し「おもちゃ&子育て応援フェスティバル」を開催しました。
—	福井県	—	「いつぼんゆび」の作者数馬友紀子さん(高校の部活中に脳幹出血で倒れ重度障害の中で画いた書・詩)の本を青森県の被災者に贈呈しました(23年度は、宮城県、福島県の被災者に贈呈)。



【2月】
八王子地区
「ふれあい交流会」



【5月・7月】
宇都宮地区



【12月】
和歌山市
「みかん狩り運動会」



【8月】
佐賀地区
「風力発電工作」



【12月】
佐賀地区
「クリスマス会」

自分だけのオンリーワンのクリスマスケーキ☆
小学2年生以上は子どものみの参加。幼児はお母さんと参加です。3日連休で久しぶりに家族が揃い、手作りケーキはファミリークリスマスの団欒で和ませてください。

「エコおもちゃ」制作中
いつも賑やかな子ども達ですが、集中！真剣！
何故か？小声でツブツブ人言。
この後、出来上がった風力発電エコライダーで
「誰のが1番良く回るか？」のコンテストをしました。



【8月】
和歌山市
「にんにこニコニコ夏休み」チラシ



がんばろう！日本



* 更生保護女性会 & BBS会 * 合同特別研修会

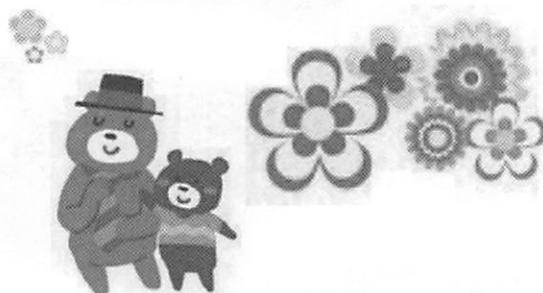
初企画！平成25年3月11日・12日の両日、BBS会員と更生保護女性会員合同の研修会開催☆
 全国各県から総勢97名が国立オリンピック記念青少年センターに集いました。
 馬場会長の「史上初めての更生保護女性会員とBBS会員の中央合同研修会です」との挨拶からスタート！
 年齢差を越えた和やかな研修会となりました。♪

なお、初日は東日本大震災からちょうど2年目でしたので、午後2時46分には
 研修を一時中断。犠牲者を悼み1分間の黙祷を捧げました。



時間	スケジュール <3/11(土)>
12:30~	受付開始
12:55~13:00	オリエンテーション1
13:00~13:20	開講式 * 日本BBS連盟 馬場義宣 会長 * 法務省 板谷充 更生保護振興課長
13:20~14:05	【研修1】：講義 「他の団体と適切に連携し、活動している事例について(発表)」 ～更生保護女性会及びBBS会と協力し、活動を実施している保護司会～ * 岐阜県・大垣保護区保護司会 久保田敏 保護司・安藤啓子 保護司
14:05~14:20	休憩
14:20~15:50	【研修2】：講義 「効果的な連及び役割分担の仕方、企画の立て方について」 * 特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会 理事・事務局長 後藤麻理子氏
15:50~16:05	休憩
16:05~17:35	【研修3】(前半)：グループ協議 「関連団体と連携した活動の企画について①」
17:35~17:45	オリエンテーション2
18:30~20:30	意見交換会

時間	スケジュール <3/12(日)>
9:00~10:15	【研修3】(後半)：グループ協議 「関連団体と連携した活動の企画について②」
10:15~10:30	休憩
10:30~12:00	【研修4】：全体討議
12:00~12:20	講評 * 法務省 板谷充 更生保護振興課長 * 日本更生保護女性連盟 狩野安 会長



1日目は、岐阜県大垣地区の保護司2名が、大垣地区におけるBBS、更生保護女性会が連携して取り組んでいる活動事例の紹介があり、日本ボランティアコーディネーター協会・後藤事務局長から、活動を計画、運営する際の留意事項(計画、実行、評価、修正)について講演。



その後、更女会員、BBS会員が一緒になって9~10名ずつのグループに分かれ、提示された3つの課題に基づき、具体的な活動内容、進行、参加人員、予算などについて2日間にわたり和気あいあいな雰囲気の中で熱心に討議。

2日目の全体発表では、模造紙に書いた活動内容について、多くのグループはBBS会員が発表するなどして積極的に参加していました。

初めての合同研修でしたが、多くの研修員からは高い評価を得ました。以下、参加者のアンケートの一部、ご紹介です♪

- ◆【BBS会員】更女の方々と意見交換でき貴重な体験ができた。得るものが多く勉強になった。これから地元に戻って活かしていきたい。
- ◆【更生保護女性会員】BBS会員のパワー発想法に感銘した。若いエネルギーをいただきました。とてもよかった。来年度も実施して欲しい。

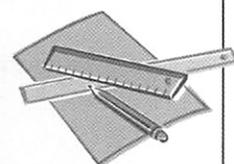


ともだち活動 from おおさか

豊中地区BBS会 河嶋直子

わたしがともだち活動を始めたのは入会1ヵ月後7月のことでした。他の方のケースを聞いて、複雑な家庭を持つ子、ものすごくやんちゃで困った子という印象を持っていました。そのため、初めて会うときは、こちらのことを快く思っておらず、嫌々引っ張り出されてはいまいかと、不安でした。ところが、初めて会ったその子は確かにやんちゃそうではありましたが、ちょっとシャイな元気がいっぱいスポーツ少年でした。担当保護司の方からは、彼は本来高校1年生の学年で、高校受験を目指しているので学習支援をしてほしい、スポーツが大好きだが、学校に通っていないため、外に引き出してほしい、との依頼でした。

それから月2～3回のペースで勉強会をすることになりました。会主催のレクリエーションにも誘ってみました。勉強は意欲的で自分で買った参考書を持参し、表題をみるだけでもわからないといった分野から進めていきました。とても素直な子で、こちらの説明に対する理解が早く、「このペースで順調にいけば大丈夫だ」と夏の段階では安心しておりました。彼は身体を動かすことがとにかく大好きな男の子ですが、私自身はそんなにスポーツ事情やイベントスポットに詳しくありません。会主催のキャンプや花火のレクリエーションに積極的に参加し、嬉しそうに話をしてくれることに救われました。



しかし、秋ごろになると、どうも学習したことが定着していかないなと感じました。それは、彼自身の苦手意識も一因ではありますが、家庭環境が影響しているようでした。家族の方は彼に家事・雑用を押しつけることが多く、勉強するための時間を作ることがないようで、また、中学時代の友人に勉強を教えてもらうにも夜の外出に厳しく、保護司の先生曰く厳しい監視状態にあり本人は息苦しいとのことでした。公な理由がないと中々外出もならず、塾に通ってもいないので公民館などに自主的に出かけるか、私との勉強会ぐらいでしか集中して勉強ができないそうです。

難しい顔をして取り組んだ勉強会の後は、軽く話をします。所属するボーイスカウトのこと、高校に入学したらやりたいこと、好きな自転車の話に顔を綻ばせます。一方で、時折、早く立ち立して解放されたい、自由になりたい、学校に通うのに勉強しない人にはなりたくないというのは彼の価値観や本音と思います。



彼は、常にニコニコしていますが、自分から必要以上に話しません。話を投げかけなければきちんと答えを返してくれないのです。笑顔で人と接しながらも、周囲に気を配りつつ人の顔色を伺っていると感じることもあります。私が彼と接する中で気をつけていることは、「大人になり過ぎないこと」です。保護司の先生や家族など大人に十二分に気を遣っているのに、私がうるさい大人になってしまっただけでは、せつかくのともだち活動もただただ、苦痛になると思いました。彼の同級生には負けるかもしれませんが、ほんの少しでも頼れる、自分の思いを吐き出せる場所になりたいと感じました。

初めての友だち活動は始めこそ本音が見えず、不安もありました。少しずつ少しずつ、接するうちにこんなに夢や希望を持っていて期待してくれている、道を閉ざしてはいけないと使命感に似たものも感じました。子どもも大人も必要とされている、自分の果たす役目があると思うと力が出てきますし、互いに期待していると相互作用もあると思います。



1月末勉強後に「落ちたら定時制に行こうかな・・・」と彼が落ち込み気味だったので「高校でやりたいことあるんやろ？ 縋りつく思いで今から粘らないと！」と背中を押すつもりで私が少し厳しめに言うところから苦笑いでその日は帰りました。言い過ぎたかなと後悔しつつ、翌週の受験前最後に会うと冷静に自己分析して、「この分野は自信ないけど、大体大丈夫!!」と自信を見せてくれました。そして2月現在、道が開かれていると信じて合否発表を待っています。





初企画！！

学生時代の“思い出”で終わることなく、社会人となってからもBBS会員として、引き続き活躍している仲間の紹介です！

今回は、千葉県BBS連盟市川BBS会に所属している3名の会員にともだち編集員がインタビューしてきました！！

[Speaker]

- ① 清澤 拓治 さん : 会員歴 12年 (学生4年、社会人8年)
- ② 吉岡 美奈 さん : 会員歴 4年11月 (学生4年、社会人11月)
- ③ 並木 沙也香 さん : 会員歴 4年11月 (学生4年、社会人 1月)



①



②



③



BBSに入ったきっかけは何ですか？

清澤

大学の先輩の誘いがあったこと、非行や教育問題に関心があったので。

吉岡

犯罪心理学に興味があったんですが、大学にはその講義はなくて。なんかそれに関連したものをやりたいなと思っていたところ、高校の先輩がBBSに所属していることを知って、加わりました。

並木

私は、中学・高校時代からボランティア活動をしていたので、大学に入ってから何かボランティア活動したいな—と考えていたんです。BBSは幅広く色々な人と交流ができるかなと思い入りました。



社会人となってからもBBSを続けようと思った理由は何ですか？

清澤

地元の市川市にもBBSがあることを知って。せっかくだし、学生時代の経験を生かそうかなと。

吉岡

BBS活動を通して出会った人から、「ぜひ続けて欲しい！」と言われたことと、まだやりたいことがあった…というのが理由ですかね。

並木

学生時代に「あの時、こうすれば良かったなあ」と自分の行動に疑問を持ったり、反省をしたりすることがあったんです。だから、BBSも「このまま終わらせたくない」という気持ちがありましたね。



社会人になって、学生時代のBBS活動との違いはありますか？



清澤

そうですね、大学時代は、学内の「サークル活動」という認識が強かったんですが、社会人になってから、地元の更生保護関係団体をはじめ、他のボランティア団体や行政とも連携する機会が多くなって、BBSが地域福祉向上を担う組織として認識されていることを感じました。

吉岡

「集まりやすさ」ですかね。大学時代は学域BBSだったので、活動するにも集まりやすかったですけど。社会人になると一つの活動のために何をしても集まるのが大変だなと感じます。プラスのこととしては、今の地区会には様々な体験をしている会員がいるので、「なるほど、そんな意見もあるのか！！」と驚くような発見も多く、とても勉強になりますよ。



並木

私も、幅広い年代の会員との会話は、本当に勉強になるな一と感じています。学生時代には、まだよく理解していなかった礼儀作法とかも含めて。学ぶことが多いですね。



大学卒業と同時にBBSを辞める会員が多い現状をどう思いますか？

清澤

大学卒業後、地方に戻って就職する場合に、戻った地元にはBBS会がないという話は聞きますよね。あとは、学域に所属していた場合、大学にはBBS会があっても、住んでいるところの近くにはないとか…せっかくの志を活かす環境がないという残念なケースも結構あるのかもしれない。あとは、環境は整っていても活動しようと思うかどうか。意識の問題ですかね。

吉岡

私と一緒に活動していた会員も、卒業とともにほとんど辞めました。悲しかったですね。社会人となって環境が大きく変化する中で活動を続ける難しさを感じるのとは仕方ないと思いますけどが…。学域BBSだと社会人会員が近くにいないので、大学を卒業してからのBBS活動がイメージしにくいというのはあるように思います。

並木

私自身も大学卒業後、しばらくは地区BBS会に入会するきっかけを作れずにいました。でも、大学の友人が市川BBSに所属していることを知って、もう一度やろう！と背中を押してもらえました。



社会人になってからも活動を続けるには何が重要だと思いますか？ また、最後にメッセージをお願いします！！



清澤

大学卒業とともにBBSを辞める会員が多いのは、とても残念なことだと思います。学域と地区会の垣根を越えて、日頃から一緒に活動できる機会を増やすことが必要なのかもしれません。僕自身も、これから積極的にたくさんの方々と交流をもって、自分自身の成長に繋がるような活動をしていきたいなと思っています！

吉岡

実は、私自身、卒業後もBBSを続けることは考えていなかったんです。でも、数十年活動してきたあるベテランの方に、「あんたみたいに学生時代頑張った人にBBSを続けてもらって、もっといいBBS活動を作って欲しい。BBSには若い人の力が必要だから」と言われたんです。それを聞いて、私でも役に立つことがあるなら続けよう！と考え直しました。それと、辞めたら素晴らしい先輩に会えなくなる寂しさもあって。私も、日頃から学域と社会人地区との連携を取り合っていくことが大切だと思います。

清澤

たとえば、大学卒業後も居住地に近い地区会へのスムーズな移籍をコーディネートする人を、各県連に1人置くのはどうでしょうか？あとは、日B連がBBS会員証を発行するとか、会員のBBS活動への意識を高めたり会員のモチベーションを上げることを考える必要があるかもしれませんね。あとは、地域の子どもたちに目を届かせるためには、BBS内の県と地区等のタテの関係と、BBS会と地域ボランティア等のヨコの関係を密に連携させていくことも大切なのかなと思います。



この春卒業の新社会人のみなさん！

卒業後、仕事でしばらくBBSお休みしていたそこのアタタ！！

もう一度BBSやりませんか？わたしたちはみなさんを待ってますよ～(*~*)v





グループ活動

from おおいた



大分県佐伯地区BBS会

佐伯地区BBS会は平成2年に発足しました。大分県下では、大分・中津・宇佐・日田・別府に続いて6番目の結成です。活動を模索する中、JR列車内での高校生の喫煙取締りやらく書きの清掃作業などの活動を行っていました。そして平成8年から新たな活動として駐在保護司の助言を得て、佐伯保護区保護司会・佐伯更生保護女性会のご協力をいただき「ふれ愛のいも畑」をはじめました。



親子のふれあい、子ども同士のふれあい、年齢の異なる子ども同士のふれあいの中で、子ども達が健全に育てて欲しいという願いからです。

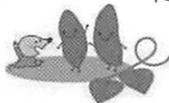
幼児・児童・生徒に呼びかけ、毎年6月に苗植え、11月に収穫祭を開催します。毎年恒例の「ふれ愛のいも畑」には、苗植えに約150人、収穫祭には約200人が参加します。

また、大分保護観察所や担当保護司の声かけで保護観察対象の少年が参加します。過去最多は一度に4人が参加したこともありました。

彼らの「社会参加活動」の手助けになればと、直接一対一の「ともだち活動」とはなりません、間接的な接し方で気持ちの良い汗を流しています。

更に高校生のボランティア活動を推進している各校の特別活動担当主任教諭にもお願いして、保護観察対象の少年達と年代代ではありますが参加協力をお願いをしています。

教諭は、年齢が近いと、初めは心配をしていましたが、お互いに笑顔が見られ、笑い声が聞かれ、いい光景が見られます。



約240坪のいも畑、その中に小さな子ども達から大人まで約200人。肩と肩、お尻とお尻、絶えず誰かと体が接触しています。ちょっと手を休め作業をしている皆の大きな歓声、笑い声を聞くと「やって良かった」「もっと続けていかねば」という気持ちを強く持ちます。

収穫祭では、焼きいも・メザシ(イワシの干し物)、さらに佐伯更生保護女性会の皆さんが作ってくれる豚汁とおにぎり、お腹も心も満腹になります。生業もあり時間の余裕はあまりありませんが、私達にできる小さな事から、自分たちにできる範囲で、無理のない活動を続けていきたいと考えています。無理をして背伸びをしては活動が長く続かないと思います。佐伯地区BBS会会員15人は基本的な考えの意思統一が確認されており、現在まで「ふれ愛のいも畑」が16年続いています。



また、この「ふれ愛のいも畑」が継続されていることに各方面の助成団体から認証も受け、貴重な助成金もいただきました。来年もやって下さいと、保護司会、更生保護女性会、社会福祉協議会から物心両面のご支援・ご協力が私たちの大きな支えになっています。

佐伯地区BBS会のメンバーの平均年齢が60歳近くになり、

「大きなお兄さん」「大きなお姉さん」とは言いづらくなってきました。佐伯保護司会が発行している広報紙「わだち」は、佐伯市内約33,600所帯全家庭に届けられています。その広報誌に会員募集の文章も書かせていただきました。



日本BBS連盟は平成22年より「純増君大作戦！」を展開し、その後も大学生を中心に若い会員が全国に増えるよう、様々な試みを実施しています。

BBS会員の一地区全国平均9.8人という現在、佐伯地区は15人。平均値より多い方ですが、年齢の高いのが現状です。若い世代の会員を増やし、この「ふれ愛のいも畑」をもっともっと続けていきたいと考えています。





学生リレー第9弾！全国のがんばっている学生の会員さんの紹介です。
今回は、『東北地方』・『四国地方』からのお届けです♪



I 土橋 愛 (つちはし あい) さん …青葉区BBS会 (宮城県)

私はこんなヒト！

みなさんこんにちは！青葉区BBS会に所属している東北福祉大学2年生です。趣味は読書とカラオケです！これといった特技は思いつきませんが、中学、高校はソフトテニスをしていました。今大学では小学校の先生になるために一生懸命勉強をしています！将来、子どもに関わる仕事をしたい、大学生のうちに貴重な経験をたくさんしたいと思い、BBS会に入りました。こんな私ですが、よろしくお願ひします！

うちの地区はこんなトコ！

青葉区BBS会は学生中心の地区会で、現在約 100 名の会員と一緒に活動しています。東北福祉大学の学生が主ですが、近年では他大学の学生さんの入会もあり、活動範囲を拡大しているところ！主な活動は児童自立支援施設や少年院、子供相談支援センター等の施設への訪問や社会を明るくする運動の企画、週 1 回の定例会などがあります。定例会では、子どもたちとどのような関わり方をすればよいかを話し合ったり、関わりの中での悩みを共有したり、会員同士で熱い意見をぶつけ合いながら活動に精進しています！

**** FREE ****

この記事が皆さんのお手元に届いている頃には、震災からもう 2 年が経っているのでしょうか。震災直後に日B連主催の中央研修に参加させていただいた会員からは、どの県のBBS会員の方も顔を合わせればまず心配の言葉をかけてくださり、とても温かかったと聞きました。当時、震災の影響を大きく受けた宮城県では今まで通りの活動を続けていけるか不安ばかりでしたが、例年とほぼ変わらない活動をする事ができました。それは当時の先輩方の努力はもちろん、関係機関の方々、そして県外のたくさんのBBS会員の皆さんからの励ましの声や支援物資のおかげです。2 年が経った今ではありますが、この場をお借りして改めて全国のBBS会員の皆さんにお礼を言わせていただきたいです。本当に、本当にありがとうございます！

これからはご支援くださった皆さんに恩返しをするためにも、より一層BBS活動に励んでいきたいと思ひます！！

II 尾古 百合恵 (おご ゆりえ) さん …徳島文理大学 (徳島県)

私はこんなヒト！

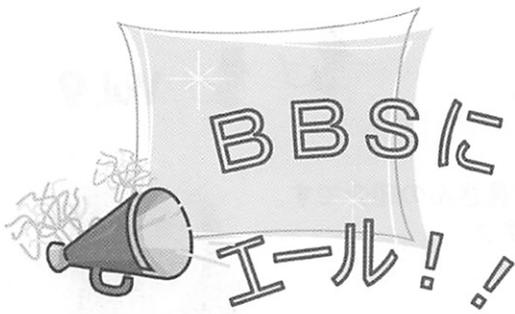
趣味は音楽と散歩。心理学科に所属し、子ども大好きな 22 歳です。顧問の中津達雄教授よりお誘ひを頂いて、1 回生の時に入部しました。3 回生では会長をやらせていただきました。ボランティアは大学に入って初めて参加しましたが、人とふれあうことがとても好きなので、やりがいと色々な人に出会える喜びを噛みしめながら、活動に取り組んでいます。モットーは「後悔しない、今やりたいことを一生懸命する」です。

うちの地区はこんなトコ！

集まったのは、学科も年齢も違う学生です。皆、「ボランティアに興味がある」「たくさんの人と関わりたい」という気持ちを持ち、何事にも積極的に取り組んでいます。本支部ではともだち活動も行っており、現在は 2 名の少年・少女と交流しています。その他にも、子ども達との非行防止メッセージ事業や社会参加活動、児童養護施設のお祭りのボランティアや、授産施設などでの催し、更生保護女性会の皆さんや小学生、保育園児など様々な人々と一緒に活動を行ったり、地域に根差した活動を展開しています。

**** FREE ****

「徳島文理大学支部」と名前を頂いて、活動するのは今年で 5 年目を迎えます。しかし正しく言えば再始動であり、一時衰退していた BBS 部を再び作ってくださったのは、中津達雄教授です。中津先生は情熱的かつ父のように見守ってくださる存在です。中津先生やたくさん先輩方にご指導を頂きながら日々成長しています。また、私たちは毎週部活動として研さんを行っています。「明るい社会」を作る上での技術や知識を習得しています。BBS 活動を行う上で、まずは会員同士が友好的でなければならないと私は考えているので、一緒に食事に行くなどの機会を通じて交流を深めています。ボランティアをする側も笑顔になれる地区会になれるといいなと思ひます。また、BBS 活動には積極性は不可欠なので、それを身につけ、自分から何かを発信できる人に成長し、またそんな人が増えていこうにしていきたいと思ひます。自分たちの力でたくさんの人を笑顔にするために、日々がんばります！



BBSとの出逢いを振り返る

NPO法人 全国就労支援事業者機構
(前近畿地方更生保護委員会委員長)

事務局長 山田 憲児

BBSとの出逢いは昭和60年、61年度の2年間、私が東京保護観察所の直接処遇班に在籍した時に始まる。当時直接処遇班のケースにはBBSにもだち活動を依頼することを原則とした。当時は少年非行が第3の山(ピーク)になり、主要刑法犯の年齢別検挙人員に占める年少少年の割合が8割という状態であり、保護観察処分少年の年齢別構成比に占める年少、中間少年の比率は昭和59年で63.1%という状態であった。当然のことであるが中学生の保護観察対象者が多く、こうした対象者には不登校、校内暴力等の学校不適応の生徒が大半であった。そして不適応の原因の大半が学習不振であり、BBS会員に学習指導を中心とするもだち活動を依頼した。中にはピアノ指導、余暇指導、グループワークをお願いし、多くの東京のBBS会員と知り合うこととなった。中には少年院仮退院のケースで毎日のように学校から校内暴力のクレームが保護観察所に寄せられる難しいケースもあり、誰も承諾してくれなかったが、大田地区のBBS会長が「それでは私がやりましょう」と引き受けていただいた。

彼の場合、学習指導が終わると飲んべえの父親のお相手もしなければならず、夜遅くなるが多かった。会社員として翌日の勤務もありながら嫌な顔をしなかった。東京のBBS会員に大変感謝し、そこでBBSの底力を認識した。



BBSの周年行事にも参加する機会が多かった。30周年行事(昭和52年7月2日:代々木のオリンピック記念センター)、40周年(昭和62年7月11日:日本青年館)、50周年(平成9年9月13日:東京国際フォーラム)の際のBBS会員の熱気と高揚感は今でも鮮明に覚えている。



日立みらい財団の援助による「こども・みらい・サポート事業」にも平成15年度(秋田県湯沢市)、平成18年度(高知県室戸市)に参加でき、平成23年度(山口県宇部市)及び平成24年度(滋賀県近江八幡市)は準備段階で実行委員会には参加しながら、転勤で実際の行事には残念ながら参加できなかった。多くのBBS会員がこの事業に携わることによって成長していると実感している。

現在は、日本社会福祉事業大学の学域BBS会の顧問として、あるいはインターネットのフェイスブックで多くのBBS会員とお友達になり、その活動の様子に毎日接し、エネルギーをいただき感謝している。特に愛知県のBBS会員でセカンドチャンスのメンバーであるTさんの活動には目を見張る思いで注目している。



人が人にかかわることはエネルギーを必要とする。特に非行少年にかかわることは並大抵のことではない。若いBBS会員があえてこの活動に参加することは、大げさに言えば、一つの社会的責務を果たしていることであり、社会の真のエリートというにふさわしいものである。

BBS関係者の皆様の益々のご発展をお祈りしている。

ご支援ご協力感謝

今回も次の方々から御支援が寄せられています。1月1日から3月31日までに寄附金等をお寄せくださった皆様のお名前を掲載させていただきます。BBS運動にお心をお寄せいただき深く感謝申し上げます。

【ご寄付をいただいた方々】

親切会関東支部様・小見山道有様・馬場義直様

【賛助会員】

平野茂様

サイズを「A4」に改定!!

これまで永年“B5サイズ”で展開してきましたが、今年度より、みなさんのご要望にお応えして一般的な書類サイズの「A4」にしてみました！引き続きご愛読をお願いします(*^_^*)



◆ この機関紙の発行には共同募金の配分を受けています

会長の動き

- ～ 1月1日から3月31日まで ～
- 1月7日 社明作文コンテスト表彰式(法務省)
 - 1月8日 更生保護関係団体賀詞交歓会(法曹会館)
 - 2月16日 八王子地区BBS会40周年記念祝賀会
 - 2月16日 関東BBS研修会(オリンピックセンター)
 - 2月17日 BBS記念碑の集い(京都市)
 - 3月2～3日 第4回理事会・こどもみらいサポート事業拡大実行委員会(青森市)
 - 3月11～12日 更生保護女性会員・BBS会員特別研修会(代々木オリンピックセンター)

BBSグッズ

BBSグッズ専用口座(郵)00100-0-568002
地区会等代表者名でFAXで申し込んで下さい。
※有償グッズは振込を申込と兼ねられます。
(振込料は申込者負担)

【有償グッズ】…送料:日B負担

- BBS バッジ 500円
 - リーフレット(50枚セット) 500円
 - クリアファイル(10枚セット) 500円(★)
 - トートバッグ 900円(★)
- (★)はいずれもBBSロゴ入りです

【無償グッズ】…送料:着払い

- 22年度モデル活動報告書
- 23年度中央研修結果報告書
- BBS運動基本原則解説書
- 「聞く」から「聴く」へ (CD版付き)
- ともだち活動をする皆さんへ

日本BBS連盟HP
Access HERE !!!



ついこの間まで炬燵に潜り込んでいたと思えば、気がつけば半袖で外を出歩くこともある今日この頃。皆さんいかがお過ごしですか？私とはいうと、春の訪れを敏感に感じ取り、目薬とマスクが手放せない日々を送っております。

さて、東日本大震災から2年が経ちました。この号で震災助成事業についての記事があるように、震災への支援は未だ続いています。ニュースで取り上げられることも減り、被害の少なかった地域では少しずつ風化しつつあるのかもしれませんが。今回の記事を見て私は、震災について様々なことを今一度考えるきっかけになりました。

最後に、私は『ともだち』の編集をこの号をもって卒業します。後輩に仕事をバトンタッチして、私は4月から社会人として頑張っていくこととなります。『ともだち』も次号からは新たな編集員たちが頑張ります。(湯浅編集員:千葉県連盟)